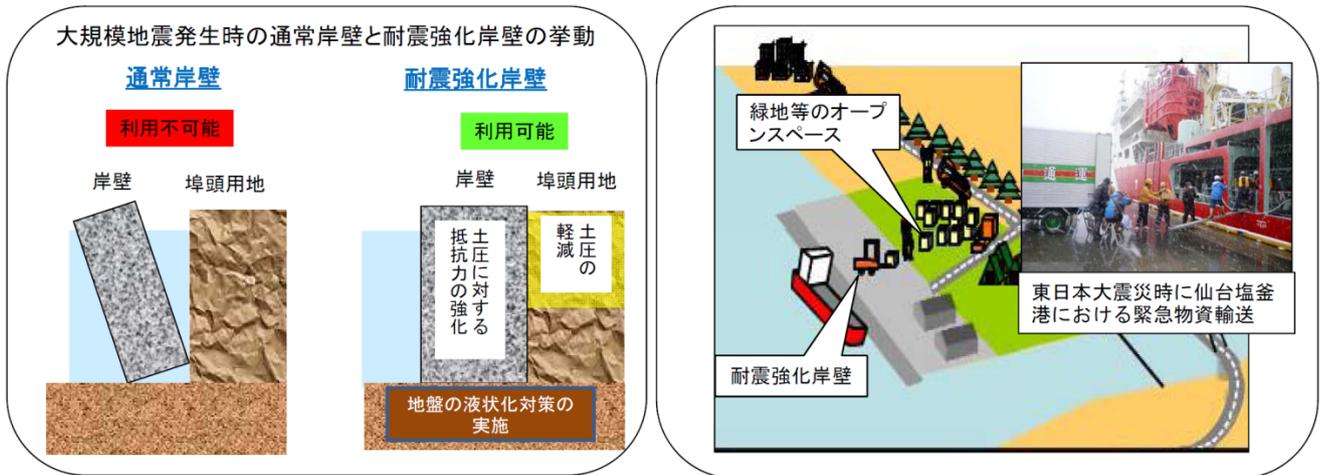


港湾施設の耐震化対策等について

○港湾における大規模地震対策施設に求められる役割

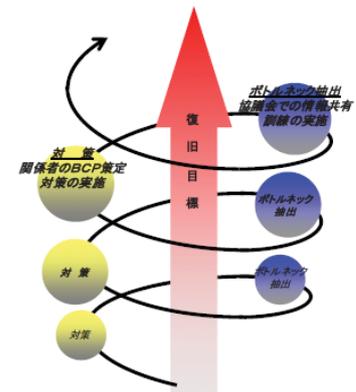
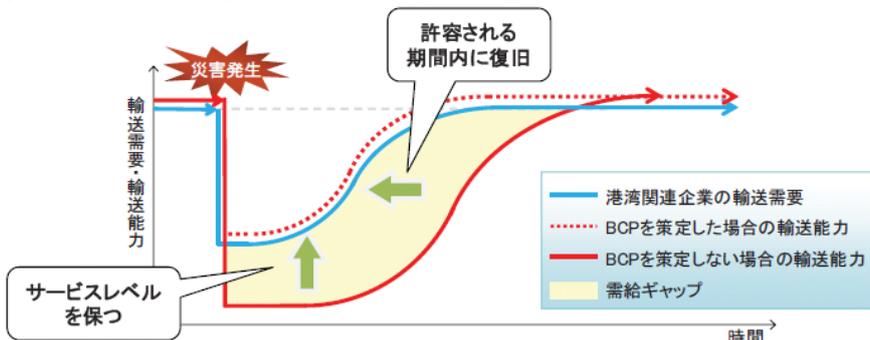
- ・円滑な物資輸送及び住民の避難地を確保すること
- ・経済活動を支える上で必要な物流機能の維持に資すること

→上記機能を確保するため、耐震強化岸壁及び関連施設を整備



○港湾BCPについて

- ・国土交通省は平成28年度末迄に、重要港湾以上の港湾BCP策定率100%を目指している



- ・「新潟港港湾BCP」は、行政機関、港湾管理者、物流事業者、荷主企業等の関係者による協議会を開催し、合意に基づき策定したものである

平成25年3月：協議会設立

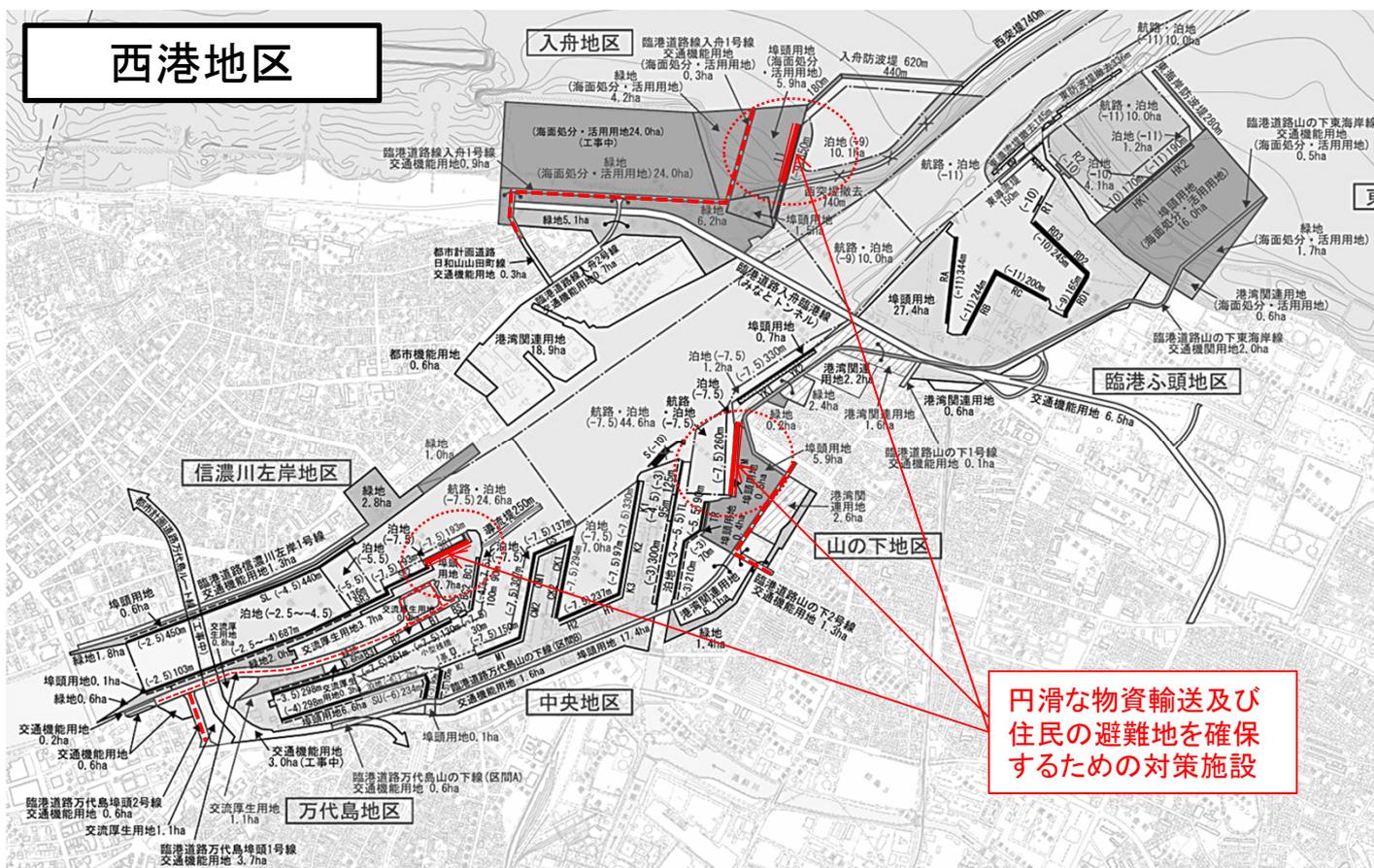
平成26年3月：港湾BCP策定

平成26年7月：BCP訓練実施

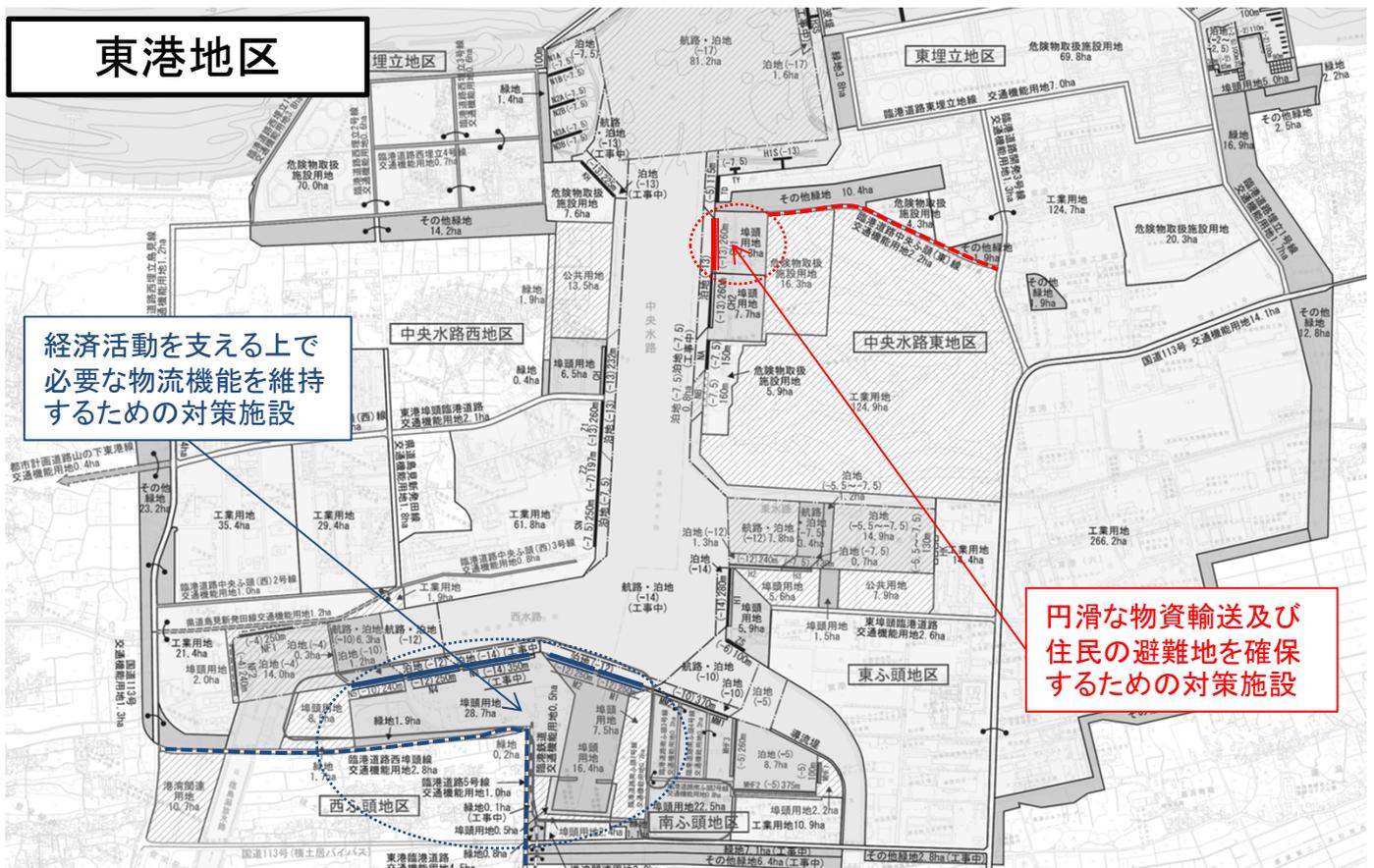
平成27年3月：港湾BCP津波編追加予定

新潟港の大規模地震対策施設（耐震強化岸壁等）の整備状況

西港地区



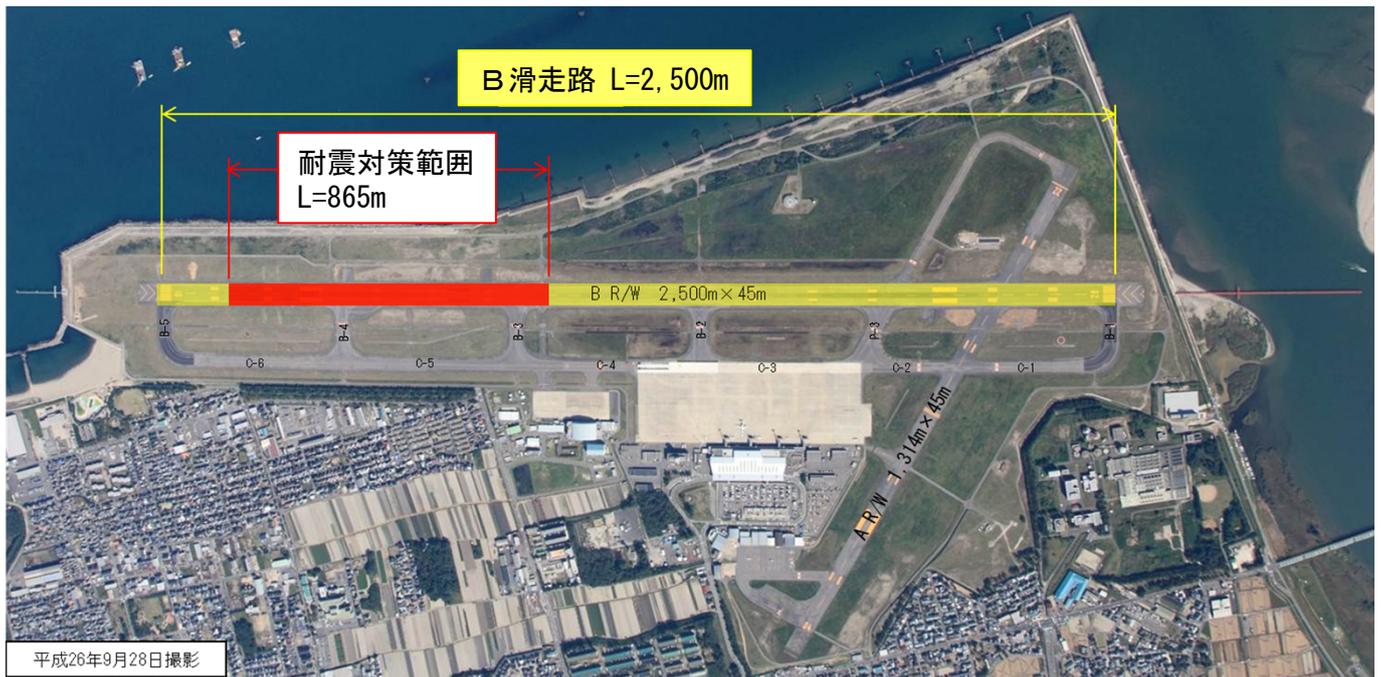
東港地区



新潟空港の耐震化施策について

○航空輸送上重要な空港に求められる機能

- ・発災後3日を目途に定期民間輸送機の運航が可能となる機能
- ・極力早期の段階で通常時の50%に相当する輸送能力を確保
- ・航空ネットワークの維持及び背後圏経済活動の継続性確保
→上記機能を確保するため、滑走路の耐震化を実施する。



【参考】新潟海岸保全施設の整備について

